＜速報＞ ―― 釣り場速報 ―― ＜予測＞

＜ 中部地方の沖釣り情報／遠州灘・伊勢湾・若狭越前沖 ＞

釣況安定せず！ 低水温が原因？

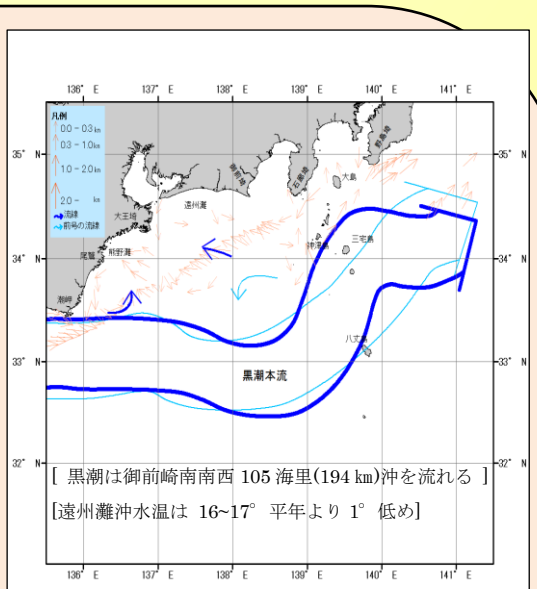
“水温上昇”と“黒潮接岸”がポイント ？

カツオの魚影あり！ 但し200ｋｍ沖合い！
遠すぎて、プロも出漁せず !!

沿岸域では、全く姿の見られない“上りガツオ”ですが、沖合い200㎞で群れているようです。

海況は、例年より１ヶ月遅れ ！

海の状況は、全体的に１ヶ月遅れで、“カツオ”も、黒潮が沿岸域に大きく入り込まない限り望み薄の模様です。



[黒潮は御前崎南南西 105 海里(194 ㎞)沖を流れる]
[遠州灘沖水温は 16~17° 平年より 1° 低め]
＜第４管区海上保安本部海洋速報 5.23. 発表＞

現在の釣況（伊勢湾口～遠州灘）

1. 赤羽根沖…30～40cm のゴマサバがボチボチ釣れています。
2. 浜名湖 …キスは入湖していますが、釣況はまだまだ芳しくありません。
3. 遠州灘 …生殖腺未成熟のイサキが多くマダマダです。

不安定な釣況は、低水温が原因 ？

例年と比較すると、水温が2° ～3° 低く、これが、日ムラの多い不安定な釣況の原因だと思われます。 プロの漁師さんも、あまりの不漁に天を仰ぎ、神頼み状況です。

昨年を振り返りますと、イサキのピークが６月初旬にあり、台風の後、水温が 25° まで上がりサメの襲来に苦労させられました。 加えて、100 ㎏クラスのキハダマグロのナブラが立ち、目の前でボコボコと採餌し、ものすごいシーンが連続して見られました。

今後は、どうなるの ？

今後の動向は、それこそ「今までに経験したことのない状況の連続」のため、予想不能です。黒潮の流路と水温の上昇それに梅雨前線の動向がキーポイントになると思われます。 ６月が無くなり、いきなり７月を迎えるというパターンが発生するかもしれません。

[福井 信明・松岡 隆春 ／ H26.5.30.]